

統合センターでのAmazon S3送信先の設定方法

概要

WalkMeの統合センターを使用することで、インサイトレポートをAmazon Simple Cloud Storage[S3]バケットにエクスポートするか[Amazon Simple Cloud Storage[S3]バケットから属性を引き出し、分析とコンテンツセグメンテーションのためにデータをWalkMeに投入できます。

オプションA – 認証情報による認証

1. 認証方法で、[認証情報によって]を選択します。
2. Amazon S3のアクセスキーと秘密鍵の提供

New Amazon S3 Integration

✕

1
Set Source & File

2
Select Columns

3
Schedule & Save

Set Source

+ New Source

Source Name

My Source Name

Bucket

my-bucket-name

Region

US West (N. California)

Authentication Method

Provide Credentials (Access Key & Secret Key)

Access Key

WALKMEAMAZONBUCKETKEY

Secret Key

WALKMEAMAZONBUCKETKEY

Path & File Name

my/path/filename.csv

オプションB - IAMロールによる認証

このオプションによって、クライアントにS3バケットにアクセスできるIAMロールを作成させ、WalkMeがそのロールを受諾してアクセスできるようにすることで、S3バケットの送信先を追加できます。

1. <bucket-nameという名前でS3バケットを作成します>

2. 以下の権限と信頼関係に基づいてIAMロールを作成します。

1. IAMロール権限：

- ‘<bucket-name>’を実際のバケット名に置き換えます

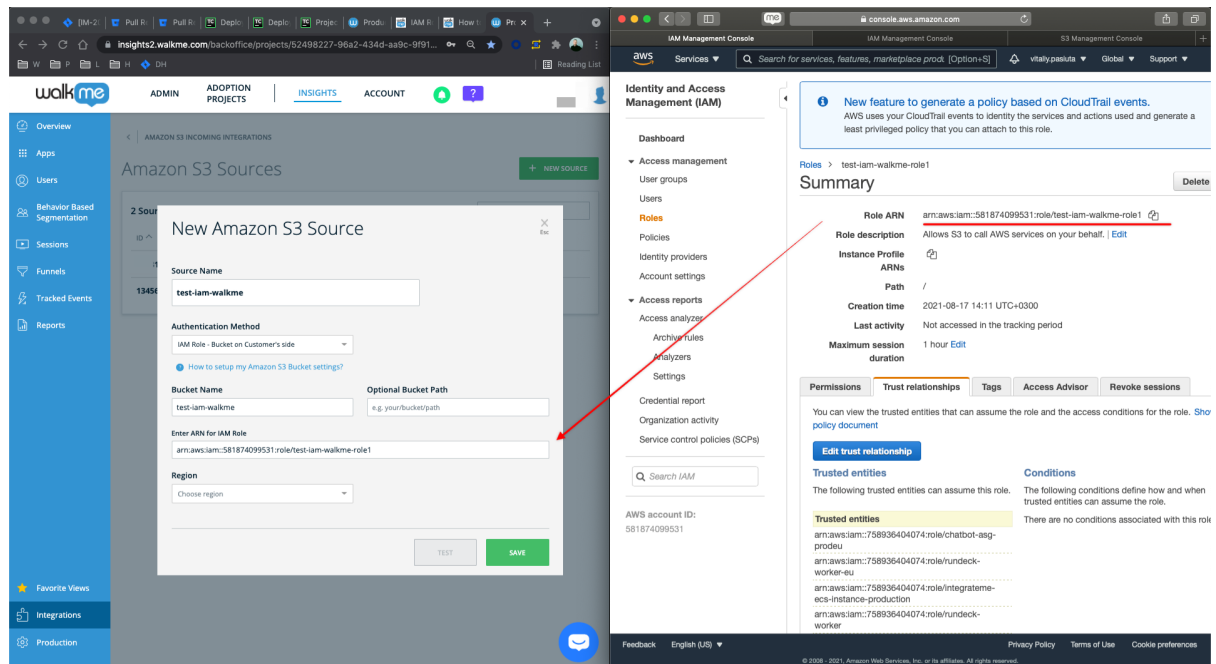
```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "AllowWalkMeRole0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "s3:ListBucket",
      "Resource": "arn:aws:s3:::<bucket-name>/"
    },
    {
      "Sid": "AllowWalkMeRole1",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:GetObject",
        "s3:PutObject",
        "s3:DeleteObject"
      ],
      "Resource": "arn:aws:s3:::<bucket-name>/*"
    }
  ]
}
```

2. 信頼関係：

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "AWS": [
          "arn:aws:iam::758936404074:role/integrateme-ecs-instance-production",
          "arn:aws:iam::758936404074:role/rundeck-worker",
          "arn:aws:iam::758936404074:role/chatbot-asg-prodeu",
          "arn:aws:iam::758936404074:role/rundeck-worker-eu"
        ]
      },
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Condition": {}
    }
  ]
}
```

3. 統合センタ - S3送信先の設定フォーム

1. 認証方法で、「IAMロール - 顧客側のバケット」を選択します。
2. IAMロールARNの値、<bucket-name>およびその地域を入力します



サブフォルダを追加する方法

S3フォルダ内の順序を保存するには、S3宛先フォルダ内にサブフォルダを作成できます。これは、新しい宛先または既存の宛先の編集の両方に対して行うことができます。

これは、複数のシステムでS3宛先を使用している場合、または異なる社内顧客部門用にエクスポートされた異なるレポートなど、複数の分析目的で使用する場合に特に便利です。

サブフォルダを追加するには、次の手順に従ってください：

1. インサイトでS3宛先を開きます
2. 「オプションのバケットパス」フィールドに、「/」と追加するサブフォルダの名前を追加します
 - 下の例画像では、追加されるサブフォルダが「subfolder_name」と呼ばれていることがわかります
3. これにより、S3フォルダインスタンスにサブフォルダ「subfolder_name」が作成されます

New Amazon S3 Destination



Destination Name

Authentication Method

Provide Credentials (Access Key & Secret Key) ▼

[? How to setup my Amazon S3 Bucket settings?](#)

Bucket Name

Optional Bucket Path

Access Key

Secret Key

[Show](#)

Region

US East (Ohio) - us-east-2 ▼

TEST

SAVE